

心に残る文化財子ども塾 出雲市立南中学校

1. 調査の概要

令和4年9月13日（火）、出雲市立南中学校で『心に残る文化財子ども塾土笛作り体験』を実施しました。

はじめに、土笛について弥生時代前期の土製品であることを話し、遺跡から出土した土笛を土器とともに実見し、手にとって体感してもらいました。

次に、広間に移動し土笛作りに取りかかった。成形（粘土を卵のような形にする）～指穴と歌口を作り、それを半分に分るところまでを前半としたが、自分の意図した形にならず苦勞する生徒もいました。

2分割した土笛を風通しのよいところに置き、粘土を乾燥させる間、教室でパワーポイントを使い、弥生時代から古墳時代にかけて遺跡で見つかった楽器について講義を行いました。

土笛作りの後半は、再び広間で内側の粘土くり抜き～貼り合わせ、そして歌口を作ったの仕上げにむけての作業をしました。後半時間がなくなり、土笛を吹いてみるどころまでできませんでしたが、生徒それぞれの個性ある土笛ができました。

今回制作した土笛は完全乾燥後、野焼きして仕上げたいとの先生の考えもあり、後日（約1か月後）、野焼きを実施され、焼き上げられた。

2. 活動の様子

1) 遺跡から出土した土笛と土器を実見する



土笛ってこんなの？



弥生時代の土器を持ってみる

2) 土笛作り



粘土をこねて丸くする



形を整えて二つに分る



中をくり抜いて合わせて穴を開ける



皆さん個性的な土笛が出来ました

3. 子ども塾を終えて

1) 生徒の皆さんから

- ・土笛の穴を開けたり、中を削りぬいたり、形を整えていく作業が難しかったけど楽しかったです。
- ・形やデザインが皆個性豊かで面白かったです。
- ・接合するときの水の量（ドベ作り）の調整具合を知りたいと思った。
- ・埋文センターに行って、遺跡で見つかったいろいろなものを見てみたい。また、昔の人が使っていた他の物も作ってみたい。

2) 学校の先生から

- ・土笛作り体験で、古代の人がどのように作ったのかを自分たちで体験したことが子供たちの学びになった。
- ・時間の関係でできなかったが、焼き上げまでできるとよりいっそう達成感が得られたのではないかと思います。
- ・講義の資料（パワーポイントの）やメモを取るためのワークシートを用意するとよかったですと思います。

3) 埋文センターから

生徒の皆さんは土笛作りが初めてのようで、思ったような形に粘土を成形するのに苦戦する生徒も多かったですが、熱心に取り組まれ、個性豊かな土笛ができました。

遺跡から出土した土笛や土器を実際に手にとって見ることで実感がわいたようです。また、弥生時代から古墳時代の楽器について学びながら土笛作りを体験することで、古代人の技術力の高さや文化を感じることができたと思います。